



野田小だより

学校教育目標

- が がんばる子
- や さしい子
- 学 びつづける子



家族で食事

平成28年12月 1日

校長 三澤 仁生

10月の26日(水)から28日(金)にかけて、全国連合校長会の大会に参加するために、高知県高知市に行ってきました。

市内には、歴史的遺産がいたるところに残っていたり、市内の東西南北に路面電車が走っていたりするなど、さいたま市とは違った印象を受けました。

また、こちらでは乱立状態のコンビニエンスストアを見付けるのに苦労しましたし、高知県庁付近に宿泊したのですが、周囲に食堂やレストラン、弁当屋を見付けることもできませんでした。

「いったい、県庁職員は、昼食はどうしているのだろうか?」との疑問や、「きっと、家からお弁当を持ってくるのだろう。」「皿鉢(さわち)料理」が名物なくらいだから、家族そろっての食事がほとんどで、外食することが少ないのだろう。」と、勝手に自問自答するのも楽しいものです。

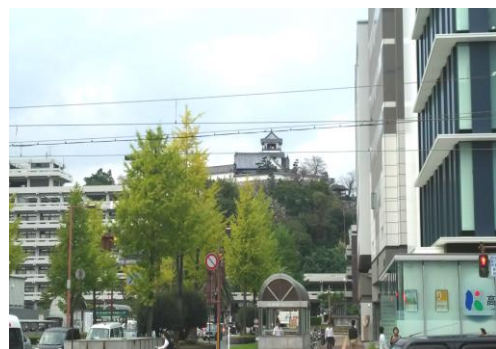
さて、各学期に実施している「生活習慣アンケート」では、ほとんどの児童が毎日朝食をとるとともに、その割合が1学期よりも今学期は増えているという結果が出ました。家族の絆を深める要因の一つとして、一家団らんでの食事をあげることができそうですが、野田小学校の特長の一つとしてもあげることができるのではないのでしょうか。

食卓を囲んで、「いただきます。」「おいしいね。」「ごちそうさま。」と家族で交わされるあいさつや会話によって、食事は、体の栄養だけでなく心の栄養にもなっています。

今までの記憶にはない11月の積雪と真冬並みの冷え込みなど、地球温暖化の影響で、今年の冬は、寒い日が多くなりそうです。そんな寒い夜に、家族で鍋を囲むのもいいですね。



市街地を走る路面電車



旅館前の通りから見た高知県庁・高知城



山内家の下屋敷跡(宿泊した旅館の敷地)



はりまや橋(空港への連絡バス停付近)